

あきつ

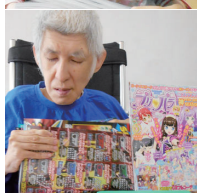
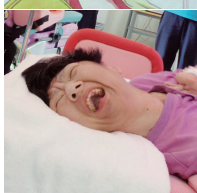
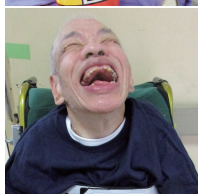
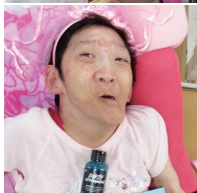
2020年7月15日発行

第 626 号

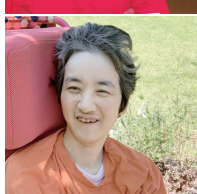
発行 / 社会福祉法人 天童会 飯野順子



僕たち 私たちは



みんな元気で



社会福祉法人
天童会



重症心身障害児(者)施設
秋津療育園
秋津療育園
秋津療育園
東村山市認可保育園

秋津療育園
通園センター
相談支援センター
こひつじ園

〒189-0002 東村山市青葉町 3-31-1
〒189-0002 東村山市青葉町 3-31-1
〒189-0002 東村山市青葉町 3-31-1
〒189-0002 東村山市青葉町 3-9-33

Tel.042-391-1377 Fax.042-392-5422
Tel.042-306-1336 Fax.042-306-0138
Tel.042-391-1345 Fax.042-391-1358
Tel.042-394-9628 Fax.042-394-9628



秋津の庭を楽園に

理事長 飯野 順子

今年もしだれ桜は、見事に咲いてくれました。いつもより早く咲き、癒しの桜でした。

自然は、いつもと変わりませんが、緊急事態宣言が解除されたとはいえ、社会状況のここ数か月の変遷は、歴史の際立った1ページとして、刻みこまれることでしょう。

しかしながら、今、求められていることは、明るい明日です。

秋津療育園の中庭には、桜の古木が庭の空間を守るかのように、ぐるりと立っています。その庭に、遊歩道と花壇をつくりました。

中庭の一面にある十周年記念碑「倅せの像」の周りには、色とりどりのバラを植えました。園生が散歩しながら楽しめるように、ストーリーのある庭にしました。

テーマは、「バラと星の王子さま」です。星の王子さまのストーリーを辿ってオリエンテーリングができるようにします。花壇は、淡い色の花を配して、大人の雰囲気になりました。それは、何よりも職員の方々が、花の色や香り、花々が風にそよぐ風情を見て、日頃の疲れを癒してほしいと念じているからです。園内の樹木マップも作りました。実のなる木など55種類で、四季折々に変化する様子分かるような案内板も作る予定です。秋津の庭は、既に「楽園」です。

花々は、雨の日以外は毎朝水撒きのボランティアさんが来て下さるので、生き生きしています。感謝です。そして、この庭の完成は、後援会の皆様、お亡くなりになった園生のご家族などからのご寄付の賜物です。心から感謝です。

「星の王子さま」の名言は「大事な秘密を教えてあげよう。とても簡単なことさ。それはね、ものごとはハートで見なくちゃいけない、って言うことなんだ。大切なことは、目に見えないからね」です。「心の目でみること」というこの名言を、中庭の花々を見るたびに、思い起こしたいものです。

『星の王子さま』は、フランス人の飛行士・小説家であるアントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリの小説です。1943年にアメリカで出版されました。



操縦士の「ぼく」は、サハラ砂漠に不時着する。1週間分の水しかなく、周囲1000マイル以内に誰もいないであろう孤独で不安な夜を過ごした「ぼく」は、翌日、1人の少年と出会う。話すうちに、少年がある小惑星からやってきた王子であることを「ぼく」は知る。から始まり、「大切なものは、目に見えない」を初めとした本作の言葉は、生命・愛とは何かといった、人生の重要な問題に答える指針として広く知られています。

玄関回り

駐車場回り

1棟中庭



なーんにも無かった中庭



花が咲きました



道ができて



花壇ができて



シャーン

秋津 木の図鑑 作成中

園内には55種、175本の木があります。

秩父宮妃殿下御手植えの「榎」、常陸宮妃殿下御手植えの「山茶花」、皇太子、皇太子妃(現在の上皇、上皇后様)行啓記念の「くすのき」(625号アーカイブス参照)をはじめとする木、ご寄付で頂いた木々、利用者が自身で植えた木、日韓施設交流を記念して植えた木など様々です。

今回1棟中庭の整備工事を機に、園内の樹々に右図のような「木の名前札」を取り付ける作業と共に、木の図鑑を作成し、利用者や来園者の方に散策を楽しんで頂きたいと思っています。



木の図鑑 ① **じんちょうげ**
沈丁花 (ジンチョウゲ科)
原産地：中国南部



濃厚な香りが特徴的なジンチョウゲ。香料の「沈香」に香りが似ていることからこの名があります。日本には室町時代に雄株のみが渡来しました。光沢のある革質の葉が独特で、樹形も整った形となるため庭園に好んで植えられます。いったん根付くと、水やりの必要もなくとも丈夫な木です。



「幸せの像」

縫製室中庭

安松街道

3棟通路

通園通路

通園庭



バラと星の王子さま説明書きの札

「特集!働く人」は、感染症対策で取材自粛のため、お休みしました。次回をお楽しみに。

引き続き コロナウイルス対策と傾向

6月を迎え新緑の季節となり、心地良い風が吹き抜ける昨今、東京の新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた緊急事態宣言も解除されました。

当園では感染を防ぐため、病棟職員だけでなく可能な部署はテレワークや時間差通勤の実施、密を避けるための部屋の配置などを行ない、エレベーターや各部屋に消毒液を設置するなど園生の安全が守られるよう園全体を挙げて対策を講じてきました。



それゆけ! 福祉くん

作: ゆうぞう

私「フクシ」の勉強しようと思ってるの!

オッ! イキナリきましたね

それは良いいねえ奥深そうだねー

やってみよ

「フクシ ソウタ君」かっこいいし! 調べがいありそうだわー

ヒョウ!

そっちの777ねー デスネー デスヨネー

わかってるねー

アハハ...

* 福士蒼汰さんは俳優さんです

●原稿募集! 4コマ漫画の原稿を募集します。福祉に触れた内容のもの(内容・絵は編集上、加工する場合がございます) 絵が苦手な方は筋書きだけでもOKです。応募はメールで ikeda@tendoukai.net

おかげさまで現在のところ皆元気に毎日を過ごしています。また緊急事態宣言解除後は世間の交流も増え、感染の2波などが心配されるところであります。園生が引き続き平穩に過ごしていただけるよう、年度を通じて職員の意識を高く持ちながら感染を持ち込まない努力、対策をすると同時に、ドライブや日光浴以外にも園生の運動機能維持のための活動やセラピールームなどの活動も段階的に再開しております。

ただいま、当園ではオンラインによる面会を整備しながら実施しております。また、研修や委員会などもオンライン化を整え、新しい日常を検討しております。(齋藤 孝)

WEB会社説明会

月の緊急事態宣言発令から2021卒業の学生に向けて、WEB会議システムのZOOMを使用して、毎週水曜日に会社説明会を実施しています。

ZOOMを活用した会社説明会では、手のしぐさやジェスチャーを使っても学生に伝わらないので、資料を工夫したり、電子ペンで強調したり、試行錯誤しながら、現状できる限りの伝え方で社会福祉法人天童会の成り立ちから、秋津療育園の事業について参加される複数の学生さんに伝えていきます。(小池 剣)



ありがとう ペッパー君

玄関で来園する方をお出迎えしてくれていたペッパー君。2年の任期を終え、ソフトバンクに帰って行きました。みんなの人気者でお話をしてくれたり、イベント会場の案内をしたり、朝はラジオ体操も指導してくれました。ほんとにありがとう! 次のお仕事も頑張ってくださいね。淋しいけれど、どこかでまた逢えるといいな。

自立支援センターむく様よりお貸しいただいていたペッパー君。働き者です。

求む! ペッパー君

お家で眠っているペッパー君が居ましたら、ご寄付、買ってください。よろしくお願いたします。



古い写真や文庫の中から、もう一度見ておきたい、読んでおきたいものを掲載します。

秋津アーカイブス

三春の桜

(平成2年4月1日発行 「あきつ288号」より)

厳しい冬の後に梅、桃、桜が一気に咲きはじめ、三つの春が一時絡まるところから、いつからかそれが町の名になったという福島県の三春町は、伊達政宗の正室、愛姫の郷里でもある。

この町に樹齢千年とも、千五百年ともいわれる「紅しだれ桜」の巨木があることはテレビの「ふるさと番組」などで見て知っていたが、三年ほど前、長崎の聖母の騎士会で発行されている雑誌で、この「滝桜」の孫桜にあたるものが、ポーランドのニエボカラヌフ修道院に植樹されることを読んで、是非ともその桜を見たくなりました。

田園の澄んだ環境の中とはいえ、長い年月を生きつづけ、美しい花を咲かせてきた桜の生命力へのあこがれです。三年経って、草野理事長とポーランドに桜を植えに行かれたロマンノ修道士さんも御一緒に、やっとこの樹に逢いました。

今年、ニエボカラヌフ修道院からコルベ神父と秋津にも縁の深いゼノ修道士が日本に連れて来られて六十年、4月22日、三春から持ち帰った若樹を富士霊園のゼノさんの記念碑のかたわらに、草野理事長と枝見先生、ロマンノさんが植樹することになりました。

ポーランドの桜は元気に根付いたでしょうか。東欧の春を彩る花をいつか見たいものです。

*現在と表現方法が異なる部分がありますが、原文のまま掲載しました

ご寄付

八百忠様、佐藤美穂子様、河内トキ様、吉田敬子様、山本鐵子様、本田千恵子様、小堀節子様、和田真様、(株)フチガミ 代表取締役淵上完男様、NPO法人日本ライフサポーター教会様、株式会社ファストリテイ(リング)サステナビリティ部様、学校法人明治学院様、日本基督教団武蔵野緑教会様、ひかり幼稚舎若草会様、日本キリスト教団目白協会日曜学校様

皆様方の温かい御支援と御協力に、心より厚く御礼申し上げます。 社会福祉法人 天童会

編集後記

梅雨に入ってもコロナの影響が残っています。いやいや、まだこれからなのかも知れませんが、自粛生活も身につき、自然と3密を避けられるようになってきました。皆さんはいかがですか? 制約の中にも楽しみを見出し、梅雨を乗り越えてください。もうすぐ暑い夏の日差しが待っています。さて、今号も動きがない月日の中で、3月から取り組んでいる、園庭の整備と、それに伴った園の樹々に注目しました。コロナや感染症に関係なく、植物は育っています。力強く育つ様は、我々人間にも生きる勇気をくれますね。(池田 雄)

あきつ 第626号

E-mail: jimukyoku@tendoukai.net
HP: http://www.tendoukai.jp

発行人/飯野 順子
発行/年4回 1・4・7・10月発行